

■総領事からのメッセージ（2011年3月10日 記）

3回目となる今回は、3月上旬の活動を簡単に御紹介します。

◎スコット・フロリダ州知事との懇談

3月4日午後、フォートローダー市内のホテルで、リック・スコット州知事とお会いすることが出来ました。30分余りの表敬・懇談でした。社交の場以外でスコット州知事とのバイ会談の形で懇談が出来た総領事はいまだ他にはいないとのことでした。スコット州知事との懇談では、日本とフロリダ州の相互の経済発展に向けた観光促進（inbound tourism promotion）について大いに話が盛り上がりました。

スコット州知事は、3月1日にオーランドにあるフロリダ中央大(FCU)のローゼンカレッジ・ホスピタリティ経営学部を訪問されました（*）。その翌日には、偶然、私も同学部を訪問していたこと、ピザム同学部長(Mr. Abraham Pizam, Dean of Rosen College of Hospitality Management)の研究結果は、イン・バウンド観光の方が商品輸出よりも地域への経済効果が大きいとの話を披露しました。スコット知事からは昨年は8千2百万人の観光客がフロリダを訪れており、観光客80数名分で一人分の雇用確保が可能とのことでした。また、日本の福祉政策についても話題になりました。日本のみならず多くの先進国の共通課題である少子高齢化を迎える中で、中長期的に持続可能な社会保障制度について、現在見直し中であること、世代間の負担のバランスや消費税引き上げを含めて税制体系の見直し・検討が始まっているとの話も致しました。

また、スコット知事からビジネスリーダーと共に訪日するとの話が何度か披露がありましたが、今後、州政府関係者と調整を図ることになりました。

（* 当方注：州知事が同カレッジ施設を訪問されたご様子は、原・副学部長の手によりU-Tube に記録されて、次のサイトで見ることが出来ます。）

<http://www.youtube.com/watch?v=XT75MK6Vr80>

<http://www.youtube.com/watch?v=oxpNK0tRNg4>

◎ハリス・ローゼン日本名誉総領事との懇談

話が相前後しますが、3月2日、オーランド市内ホテルで、昨年11月に日本名誉総領事に任命されたハリス・ローゼンさんにお会いしました。70歳を越しておられるのですが、超多忙な日程の中でも、毎日40分以上水泳を欠かさないのが健康の秘訣だとのことでした。ローゼンさんから、日本への観光について米国人の間には、宿泊・食事代などが高いといった誤った見方が依然としてあるのは残念なこと、日本には楽しめる歴史遺産・文化などが夥しくあり、また、こうした場所に旅行するための輸送インフラがとても充実しているなど、大変に日本にとって有難いご指摘が多くありました。また、1月21日

の当方着任まで総領事がしばらく空席であったこと、及びローゼンさんが超多忙な方という理由で、しばらく見送られていた名誉日本総領事の地元オーランドでの披露レセプションを3月21日の昼にローゼン・プラザホテルでようやく開催することになりました。

◎ライマン高校(オレンジ郡)日本語学級を訪問

3月3日午前、オーランド空港から北に高速道路を利用して20分程度のところにあるライマン高校を訪問し、その際にオレンジ郡の学校関係者、同高校の校長(Mr. Frank L. Casillo)以下の教師の皆さん、そして日本語クラス及び教師の方にお会いし



ました。

4年制で生徒数が2500名いるマンモス高校です。10-11年生が主体の日本語クラスでは、生徒から日本語での自己紹介や日頃の学校生活の様子を収めたビデオの上映もありました。校長さんからは、新学期から日本語クラスをもう1クラス増やすとの話もありました。日本語教育を持続するには、生徒を楽しく指導でき、しっかりとした日本語教師の確保が今後も重要だと思います。

◎EPCOT センター日本館訪問

3月3日午後、ウォルトディズニーワールドの4つのテーマパークの一つ EPCOT センターにある日本パビリオンを善木(ぜんき)三越オーランド社長の御案内で視察できました。このパークには池の周囲に各国のパビリオンがあり、京都御所の紫宸殿を模した重厚な建物や桂離宮、五重塔、さらには少し小さめなスケールの姫路城などがコンパクトに見ることができ、また、各種販売・展示室があり充実していました。日本に行く機会のない米国人にとっては、日本文化の発信拠点の役目を果たしていると感じました。



(府州太鼓公演 2011年3月6日午後 ホームステッド at Fruits & Spice Park)



(府州太鼓チームの皆様と)

◎アジア文化フェスティバル

3月6日、ホームステッドの「フルーツ・アンド・スパイス・パーク」で2日間開催されているアジア文化フェスティバルを視察、午後の府州太鼓の公演に先駆けてお祝いのご挨拶を致しました。日本の太鼓チームの公演は昨年もありましたが、今年も大変な人気があり、数千名の観客は1時間の公演中何度も盛大な拍手をし、公演終了時には、スタンディングオベーションの嵐となり、南部フロリダ地域のフェスティバルの中では最大イベントでありました。また、イケバナインターナショナル・マイアミ支部によるデモンストレーションとお花のレッスンにたくさんの人が押しかけていました。フェスティバル組織委員長によれば、当地の農園からはアジアのフルーツが沢山とれること、周辺地域にタイ人が数多く住んでおり、タイ寺院もあるとのことでした。



◎マイアミ大学(UM)病院とジャクソン記念病院(JMH)訪問

当総領事館や中南米公館館員・在留邦人が緊急時にお世話になっているマイアミ市にある **UM 病院** と **JMH** を当館宮武医務官と共に訪問しました。

内臓移植などの先進医療病院として全米屈指の規模（**JMH** は **2000** 病床）の民間病院であり、教育病院や研究病院としての機能も備えています。

同病院関係の従業員は **4** 万人規模であり、同病院の国際関係部門は、中南米等海外からの医療滞在目的患者の受け入れにとっても積極的であり、患者さんの満足度を重視したサービスを心がけて、病院内の雰囲気・施設の造りに配慮が窺えます。癌病棟でさえ、開放的・明るい雰囲気の病院でした。日本の暗い病院の雰囲気とは、大分様相が異なりました。



私立大の教育病院と **JMH** とが一体となって緊急患者を受け入れる態勢が整っており、国際関係部門の医師・医療スタッフは、米国で教育を受けた各国スタッフで構成されています。また、鹿児島大学医学部附属病院からは若手医師を常時数名受けいれています。（了）